

第三章 潼關長武間の行程

第一節 潼關西安間

十一月一日午前十時十分潼關を發す。其の西方約十數町の地は、即ち黄河及渭水の分岐點とす。シユイ跳橋テヤオチヤオ（人家約二十戸）五里堡を経て轉店チヨウテンに到れば同附近一帶の地は、粘土質なるに、雨後泥濘甚だ深く、通過爲めに頗る困難、午後五時始めて華廟ホウミヤオ（三百戸）に投宿す、行程約五里。此地有名なる華山廟ホウシヤンミヤオあり、樓に登れば巍峨たる大華山を眺望すべし、廟内には漢唐以來の古碑林立し、行人摺て法帖と爲す。蓋し今日經過せし所の地形は、路北、黄河、渭水に沿ひて平坦開濶、路南は秦嶺連亘、次第に道路と隔離して西南に走る。

大華山と
華山廟

二日午前九時二十分華廟を出で、西南に向ひ、行くこと約一里、華縣ホウシエンに到る。此地人戸約二千を有し、磚土の城壁之を繞るも市街は不整、家屋は疎散して、僅に縣衙門、郵便局、巡警局、及一小學堂を設けたり。此より西行一里餘、一小川あり、雪橋河シユエチヤオホ（幅約六尺）と呼ぶ。橋あり、雪橋シユエチヤオと名づく。西行又數十町、溪水三幅尺約の道上に横走する